

経営比較分析表（令和4年度決算）

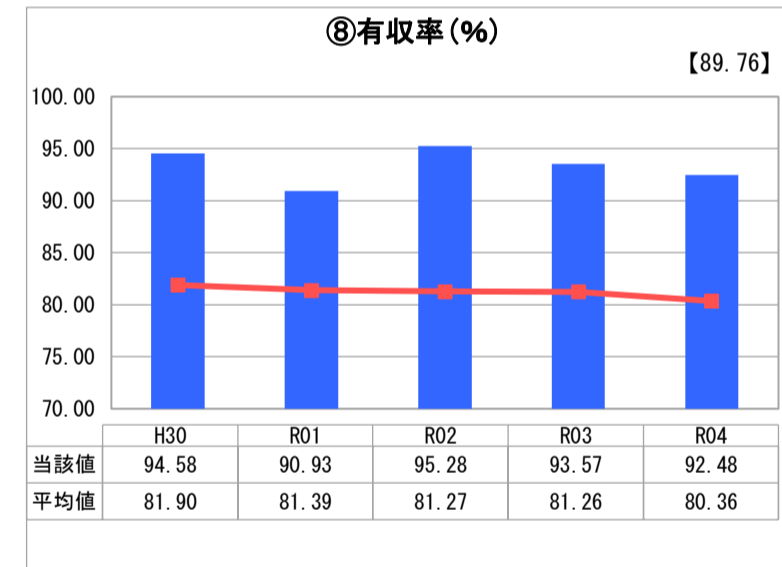
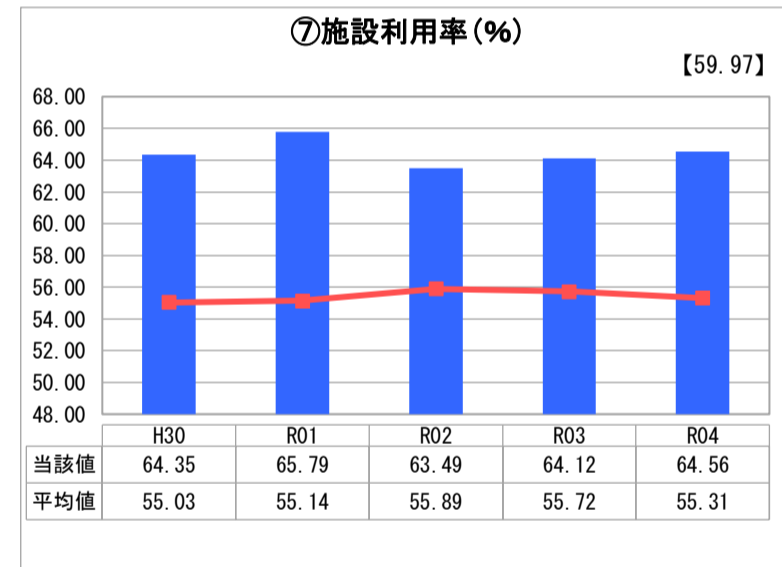
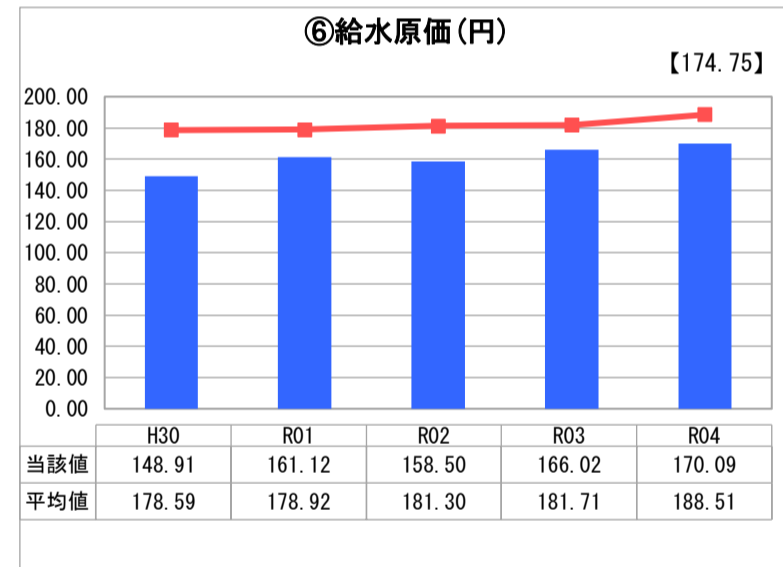
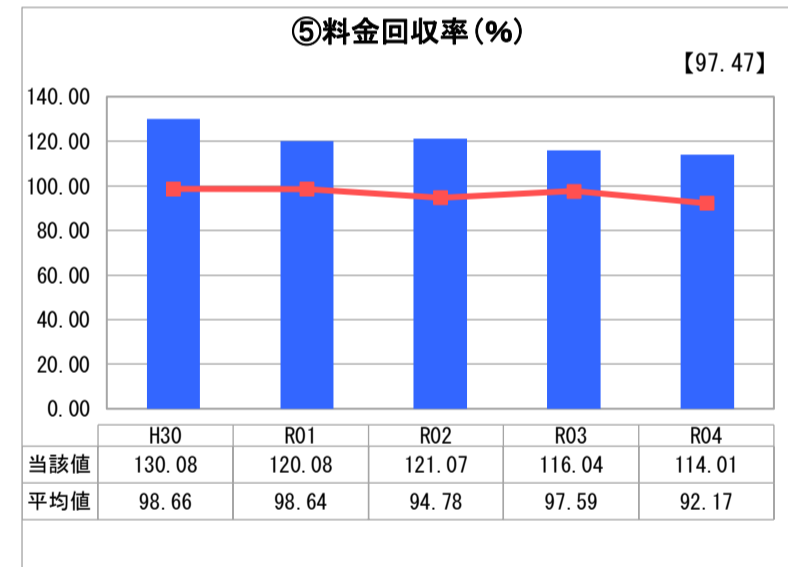
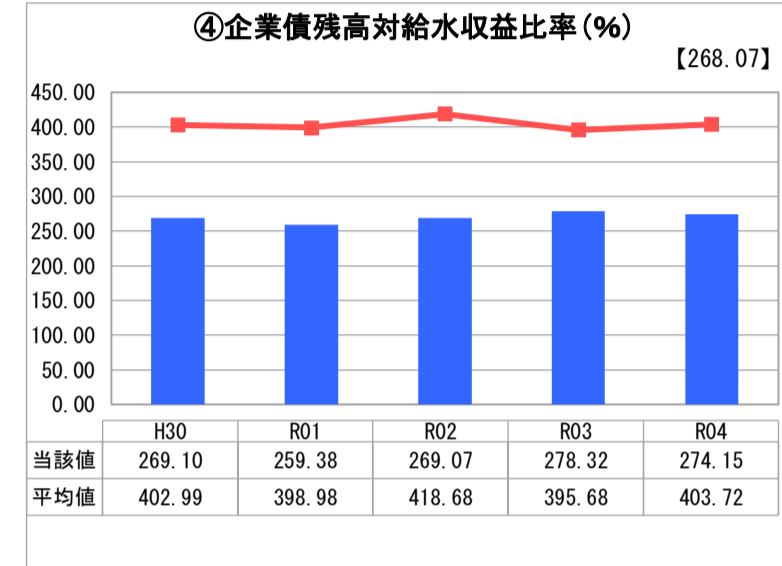
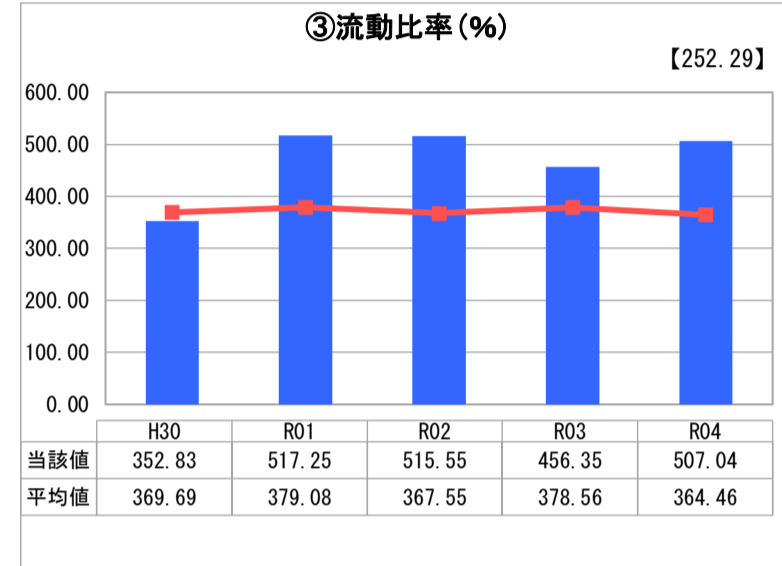
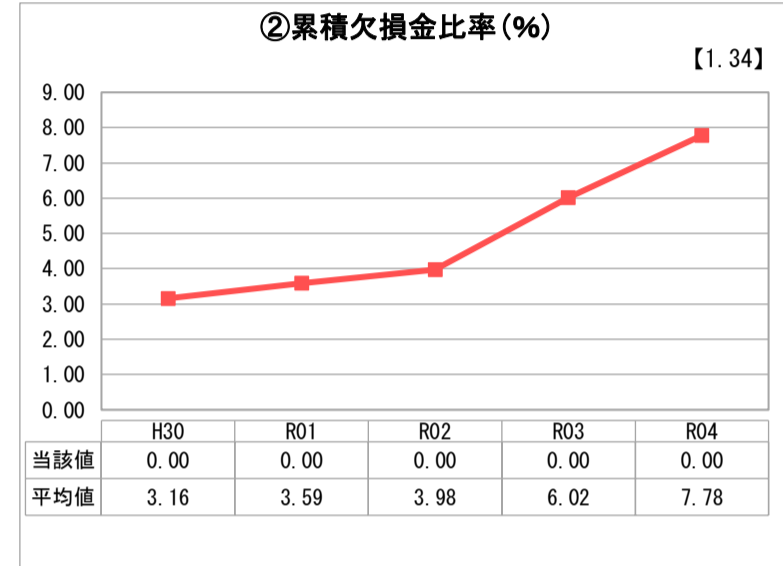
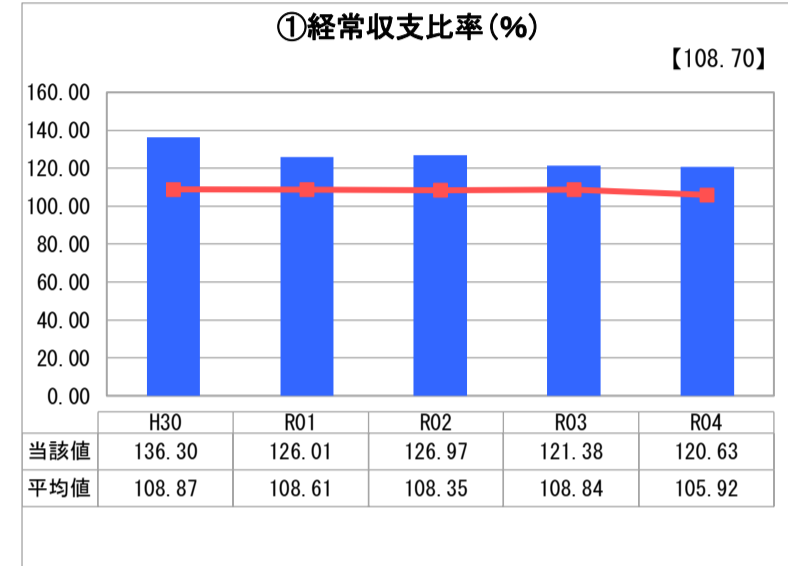
茨城県 高萩市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	73.24	96.46	3,267	

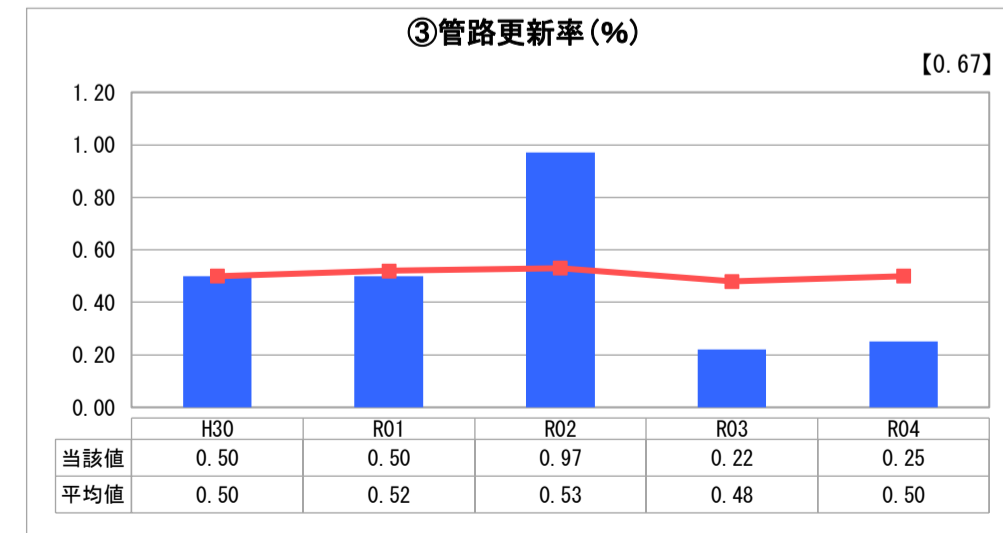
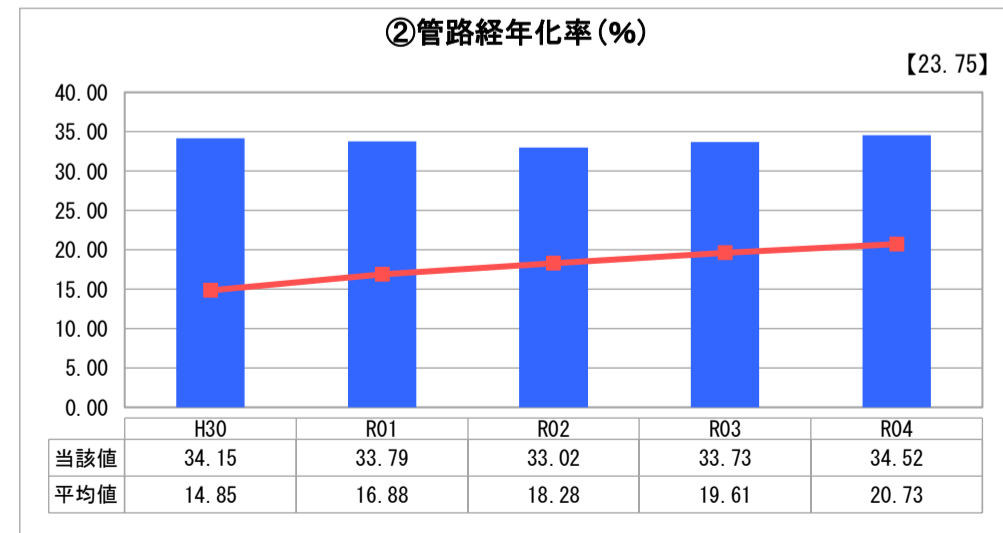
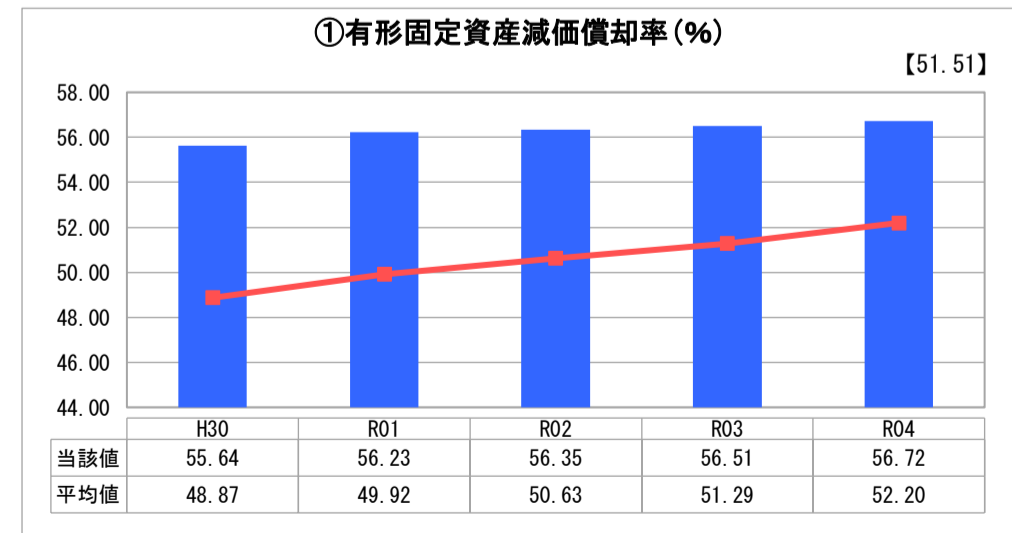
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
26,866	193.55	138.81
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
25,754	28.75	895.79

■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、H25の料金改定以降、類似団体平均値と比較し高い値を保ってきたが、比率が下がる傾向。収納率向上に努め健全経営を図る。
 ② 累積欠損金比率は、現時点において発生していない。人口減少に伴う給水収益の減少を踏まえ、引き続き経費削減を図る必要がある。
 ③ 流動比率は、H30は、類似団体平均値を下回っていたが、R01より回復傾向にある。しかし、今後の施設維持管理等を考慮し、運営計画を立てる必要がある。
 ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均値と比較し低い状況にある。将来負担が大きくなるまいよう給水収益の状況をみながら、施設及び老朽管路の更新等を計画的に進める必要がある。
 ⑤ 料金回収率は、類似団体平均値と比較し、高い値ではあるが下がる傾向にあり、今後の人口減少等で給水収益を維持するのは困難。更なる経費削減及び料金改定など将来に向けての検討が必要となる。
 ⑥ 給水原価は、自然流下による配水及び有収率が高く、類似団体平均値より低いが、類似団体同様近年は値が上昇しているため、経費削減に努める。
 ⑦ 施設利用率は、類似団体平均値と比較し高い値だが、今後の人口減少等を考慮し、浄水場を含めた施設の適正規模、統廃合等を検討する必要がある。
 ⑧ 有収率は、類似団体と比較し高い値を維持している。今後も老朽管の布設替及び迅速な漏水対応に努め、適正な維持管理を行う。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値と比較し高い値にあり、法定耐用年数に近い資産が多い。管路更新率が低い状況にあるため、H28年度策定の「高萩市水道ビジョン」に基づき、計画的に更新を図っていく。
 ② 管路経年化率は、類似団体平均値と比較し高く、法定耐用年数を超えた管路を多く保有している状況にある。管路更新について財源確保に努め、「高萩市水道ビジョン」に基づき、計画的に進める。
 ③ 管路更新率は、R03、R04は数値の算出根拠を変えたため低い値となったが、更新延長はH30やR02と同程度更新している。管路経年化率等は高い値であるため、今後も財源確保に努め、災害にも対応できるよう耐震性なども考慮し、「高萩市水道ビジョン」に基づき、計画的に進めていく必要がある。

全体総括

全体としては、類似団体平均値と比較し、良好な状況に思われるが、人口減少、老朽管路の更新、自然災害の発生により、財源の確保に苦慮する可能性は高まっている。今後の浄水場更新を考えれば、多額の建設改良事業費が必要となってくるため、水道料金について適正であるかを検討し、資金の確保のため更なる経費削減に努めながら「高萩市水道ビジョン」を基に計画的に事業を進め、健全な経営を図っていく必要がある。